

熊本市議会
[市民連合]

みなさん、こんにちは
市議会だよりです

2012年夏号
(通算 No.181)
(発行) 市民連合
市議会だより編集部
[議員室] TEL(096) 328-2650
FAX(096) 324-7777

第2回
定例会

一般・特別会計6億5,004万円を補正
「再生可能エネルギー等導入推進基金条例」を可決

第2回定例会は、6月4日(月)から15日間の日程で開催され、49議案を可決・承認し、6月18日(月)に閉会しました。予算案件では、一般・特別会計補正予算案を審議し、合計で6億5,004万円の予算を可決しました。結果、本年度の予算規模は、一般会計2,765億145万円、特別会計2,035億9,371万円、企業会計820億4,773万円となっています。4件の予算案以外では、条例7件、その他30件、人事4件、意見書3件を可決。請願6件は不採択でした。

市長、職員の不祥事で謝罪

6月4日の開会日、幸市長は冒頭、4月1日に政令指定都市移行後の初の定例会となることから、移行に関する市の業務や総合出張所などを含む各区役所管内の4月の利用状況などについて報告がありました。

また、酒気帯び運転など4件の不祥事と、今年

の入学試験の際の市立高校2校の採点ミスについての処分内容等の報告と謝罪がありました。

本会議では補正予算案件の他に条例案件7件、その他の案件30件などについて審議しました。

条例案件は、平成26年度から35年度までの10年間個人市民税の均等割りの税率を500円引き上げるなどの内容の「市税条例の一部改正」や、再生可能エネルギー等の導入を推進し、災害時での避難所機能の拡充のための基金を設置するための「市再生可能エネルギー等導入推進基金条例」「市政治倫理条例改正案」などすべて可決されました。

補正予算の主な事業内容は以下の通りです。

【企画振興部門】

○名誉市民 故安永路子氏お別れの会開催経費(600万円) ○西区役所駐車場整備経費(1億2,300万円)

【健康福祉子ども部門】

○障がい児施設等事業運営安定化経費(4,200万円) ○地域支え合い体制づくり事業/NPO法人等が実施する地域の高齢者支援を目的の事業助成(3,050万円) ○精神科救急医療システム整備事業/精神科救急情報センターでの休日・夜間の相談窓口の整備・運営経費(749万円)

【環境部門】

○再生可能エネルギー等導入推進基金積立金(3億5,000万円) ○再生可能エネルギー等導入に係る計画策定等経費(500万円)



▲消防救急デジタル無線整備経費として予算がついた。

【農水商工部門】

○水資源回復・基盤整備交付金事業(794万円) ○全国豊かな海づくり大会プレイベント等関係経費(300万円)

【観光文化交流部門】

○熊本城復元整備基金積立金(2,285万円)

【都市建設部門】

○鉄道維持費助成/熊本電気鉄道株の鉄道維持経費に対する助成(915万円)

【消防部門】

○消防救急デジタル無線整備経費(2,450万円)

【企業会計/上下水道部門】

○料金管理システムデータ移行経費(1,858万円)

【国民健康保険会計】

○国民健康保険会計補正予算/療養給付費等の歳出に対応するため(53億5,000万円)

【一般質問】

市民連合からは西岡誠也議員が登壇しました。「少子化対策の重要性」「花畑別館、区役所等の施設のあり方」など、鋭い質問を行いました。



▲西区役所の駐車場は役所の北側に造られる。6月議会で予算が承認された。

採択された意見書

- 再生可能エネルギーの導入促進に向けた環境整備を求める意見書
- 防災・減災対策としての公共事業による社会

- 基盤再構築を求める意見書
- 基地対策予算の増額等を求める意見書

第2回定例会(6月議会) 常任委員会 予算決算委員会 各分科会 報告

総務委員会 田辺正信

消防救急デジタル無線整備費として、2,450万円が提案された。また、消費税の増税に対する請願2件、東日本大震災に関する陳情3件、情報公開条例の見直しを求める条例、行政文書等の管理に関する条例の制定について議論を求める陳情等について審議が行われた。特に、「行政文書等の管理に

関する条例」の制定については、国では「公文書管理法」が制定され、行政の決定過程を明らかにすることとなっていることから、政令市となった熊本市でも条例の制定を求められているもので、熊本市としての対応は、検討をしているとのことであったが、一日も早い条例の制定を求めた。

教育市民委員会 東 すみよ 田尻 将博

補正予算として、名誉市民の故「安永路子」氏お別れの会開催経費として600万円、西区役所駐車場整備経費1億2,300万円が計上され、また条例案件としては、「熊本市学校規模適正化検討委員会」と「はあもにい」の「指定管理者候補者選定委員会」の設置が加えられ、いずれも異議なく可決となりました。

市立高校入試事務改善報告を受けましたが、教職員の度重なる不祥事は子どもに与える影響の大きさから厳罰に処するべきとの厳しい意見が出されました。また各区役所の振興ビジョン策定の計画が示されました。懇話会を中心として住民の意見を広く集約しながら、特色ある区を形成する決意が伺われました。

福祉子ども分科会 福永洋一

委員会では、補正予算2件、条例1件についての審議と、行財政改革計画の進捗状況など、3件についての報告があった。予算関連の審議では、精神科救急情報センターの役割などについての周知徹底や、国民健康保険会計の利用者負担の軽減などの要望が出された。高齢者支援のための「地域支え合い体制づ

くり事業」については、これまでの取り組みの精査を行い、適正な助成を行い更なる拡充に努力するよう要望した。他の案件では、生活保護受給世帯の急増の対策として、生活保護業務に当たるケースワーカー担当職員を増員や、不正受給者対策や就労支援策に対応できる、組織的な対策の強化の必要性を訴えた。

環境水道委員会 上田 芳裕 家入 安弘

本年度、熊本市は環境省からの再生可能エネルギー等の導入推進基金(グリーンニューデール基金)の交付決定を受け、総額3億5千万を活用し、非常時における防災拠点(区役所・出張所等)に対する太陽光発電・蓄電池を5年計画で整備することとなりました。災害時での防災拠点の電力確保は大変重要

であり、現在の非常用電源から蓄電池配備は有効手段であります。しかし、この基金活用のみでは、全ての防災拠点に対応できないことから、一般財源の活用も含め、あらゆる災害への備えとして、また避難所としての小・中学校体育館整備と並行した、万全な計画と配備を要望しました。

経済委員会 田上辰也

今議会において経済委員会への付託議案はなく、一般会計補正予算のうち経済分科会関係分の審査を行った。水産資源回復・基盤整備交付金事業について、本市における漁業就業者数や漁獲生産量が減少している状況から、水産資源の回復及び漁業環境整備のため、県並みの補助率に引き上げ

るよう要望があった。全国豊かな海づくり大会関係経費について、環境問題への啓発効果が期待されることから、川や山を含め、総合的に自然環境を守る取り組みが促進されるよう要望があり、経済波及効果も期待されるので積極的な広報活動を展開してもらいたいとの意見があった。

都市整備委員会 西岡誠也

地域鉄道の安全性向上として新たな補助制度が23年度から実施され、国、県、合志市、熊本市、熊本電鉄で事業計画を立案し、事業費の一部助成を行うことになった。助成を行う上で、踏切の拡幅など安全対策も合わせて行うべきと主張。政令市移行後の組織体制については、3土木センターと区役

所のまちづくり推進課との連携、本庁との連絡調整などが報告された。これに対し、①あくまで区ごとに土木センターを、②100人を抱える各センターの所長が課長級でいいのか、③国・県道の引継ぎで倍以上の予算となったが、執行体制は整っているのか、最初の年であるため、きめ細かな状況把握を要請。

みなさん
こんにちは

熊本市議会議員 田尻将博からあなたへ



ごあいさつ

政令市の「議員」と「職員」が切磋琢磨でスキルアップ

暑中お見舞い申し上げます

政令市は全国20都市、政令市同士の連携、様々な課題の都市間競争を勝ち抜かねばなりません。職員も議員も切磋琢磨し、政令市になって良かったと思われる政策や活動を展開しなければならぬと思います。

議員、県会議員同様「個人資産」などの公表が義務付けられ、一段と高度な政治倫理が求められることになりました。その関連する本市政治倫理条例を22年ぶりに改正することにしました。本条例は議員の倫理として「職務に関して不正の疑惑をもたれるおそれのある行為をしない」すなわち金銭の授受・口利きなどを厳しくする倫理条例です。その条例の「調査請求」部分を改正し可決しました。



政令市になって良かった、と言われるように、議員と職員が切磋琢磨して取り組んでいくことが大事です。

4月1日、全国20番目の政令市熊本市がスタートしました。政令市初の6月議会が4日から18日までの15日間開催され、予算、条例議案を審議しました。予算関係は当初予算に対し国の内示に伴う追加補正、法改正に伴う条例改正、そして各局の事業報告などを審議しました。私の所属する企画教育市民委員会は企画振興局、区役所、教育委員会であり、市民や生徒児童に直接影響する委員会です。特に今回は区役所新設に伴う業務運営や人員配置、事務所スペース、お客様駐車場やお客様対応について種々議論しました。政令市と議員の関わりの一つに、資産公開の規則があり、国会

4月1日、全国20番目の政令市熊本市がスタートしました。政令市初の6月議会が4日から18日までの15日間開催され、予算、条例議案を審議しました。予算関係は当初予算に対し国の内示に伴う追加補正、法改正に伴う条例改正、そして各局の事業報告などを審議しました。私の所属する企画教育市民委員会は企画振興局、区役所、教育委員会であり、市民や生徒児童に直接影響する委員会です。特に今回は区役所新設に伴う業務運営や人員配置、事務所スペース、お客様駐車場やお客様対応について種々議論しました。政令市と議員の関わりの一つに、資産公開の規則があり、国会

西区の課題

西区の振興ビジョンを検討 18歳以上3000人にアンケート調査

政令市がスタート、5つの区役所が誕生しました。

私どもの区域、「西区の課題」をテーマに、市民の皆様に関連の事業などを報告していきたいと思えます。

さて、4月2日午前8時、小島2丁目に新設されました西区役所の開所式が開催されました。

開所式には西区役所管内自治協議会長、県・市議会議員出席のなか、永田初代西区長、私田尻が議会を代表してあいさつ、そしてテープカットで区役所業務がスタートしました。

西区役所の所在地については省略しますが、区役所は西部市民センター、公民館が併設する旧施設の隣接地に増築して開所しました。

特徴は新設した西区役所玄関より、旧市民センター・西部公民館の玄関が立派すぎる施設でもあります。

職員や利用する市民の足である、公共交通機関利用の不便な区役所も特徴です。市民の西区利用者駐車場も来春収容140台で完成します。

さて、本市の5つの区役所は、お互いの区の特徴を生かした区役所振興ビジョン策定をスタートさせました。

策定趣旨は区役所毎、政令市移行後の新たな地域のまちづくりを進めるため、区の将来像やまちづくりの方向性を示す振興ビジョンを、区民の参加によって策定されます。



新幹線が開通した熊本駅周辺域をはじめ、西区5地域でビジョン策定案が作られます。

西区職員で構成される検討会で、区の将来像やまちづくりの方向性に関する事項を検討し、そして地域の声を直接策定に反映する機関として「策定懇話会」が設置されます。

懇話会には学識経験者、校区自治協議会、農業・漁業・商店街、医療福祉関係者、女性の会、PTAなどで構成し、意見の聴取が行われます。

また地域で18歳以上3000人を無作為に抽出し、アンケート調査を実施します。そして、地域のまちづくり関係団体や学生などと意見交換が予定されています。

このビジョン策定は来年3月までに作成し、西区5地域で「地域説明会」が開催されます。

西区5地域とは「金峰山系域」「有明海沿岸域」「西部域」「上熊本周辺域」「熊本駅周辺域」の特色ある5地域が、策定の基本とされています。

今回のビジョンは5地域の特徴を生かしたまちづくりです。お互いの地域を尊重しながら、相互協力を発揮し意見反映を期待しています。

各区役所の振興ビジョンが来春策定されます。熊本市内5つの区役所の都市間競争の始まりであります。

20番目の政令市、都市間競争・区役所間競争と、常に切磋琢磨が新しい政令市熊本市を創ると確信しています。

次回からは、西区が抱える区バスの課題などについて報告したいと思います。

副議長活動記

議員と議会事務局の関係 「黒子」に徹する事務局職員

前回の春号では「地方六団体」のひとつ全国議長会と熊本市議会議員の役割について述べました。

今回の夏号では議決機関であります「市議会」の表を議員とするならば、徹底した「黒子」で、業務を熟す議会事務局職員の事務分掌について紹介します。

市議会は市長提案の予算や条例を審議議決する「議決機関」で、市長は市議会の決定に基づき執行する「執行機関」と呼ばれており、執行機関と議決機関双方とも独立した機関です。

その議決機関である議会をサポートする議会事務局は、年4回の定例本議会や各種委員会を中心に業務が展開され、課を超えた事務局総動員で対応されています。

また、政令市を迎え全国各地から年間150件以上の行政視察を受け入れ、事務局の総動員体制は他都市から大変喜ばれています。



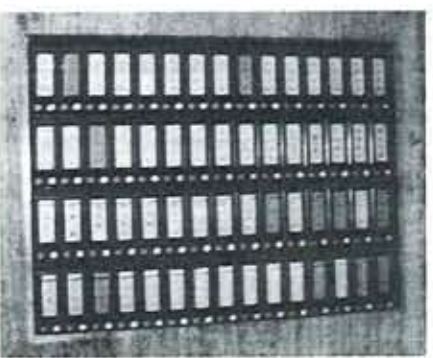
▲県外からの視察も多いことから、専用バスで送迎や案内も議会事務局の業務だ。

さて、具体的に紹介しますと議会事務局は、総務課と議事課の2課体制で24人の職員が配置されています。

総務課は総務係と秘書係に担務され、総務係3人は全議員・職員の服務や会計関係、政務調査費や新たな資産公開など総務全般を業務とし、秘書係5人は全国議長会や全国局長会の事務、各種要望の期成会、儀式、交際などに関する業務、正副議長関連業務、公用車関係の業務を担っています。

議事課は議事係と調査係があり、議事係5人は主に本議会に上程される議案、請願陳情に関する業務、特に神経を使う議会運営委員会の準備手配など、議員団各派の調整もあり高度の配慮業務となっています。調査係5人は主に予算決算委員会や各常任委員会、議事録作成、行政調査などを担っています。

議員活動も、議会事務局職員あつての活動ですので、私はいつも感謝いたしております。



▲議会事務局は議会と49人の議員を裏方として支えている。(写真は49人の議員名札)



▲スタートした西区役所の正面玄関。西区の地域づくり、行政サービスの拠点となります。

市政に関するご意見やご相談、また地域のご要望などはお気軽にどうぞ！

熊本市議会議員 田尻 将博

〒860-0061 熊本市西区上高橋2丁目8番16号
TEL329-4339 FAX329-4778
http://www.masahiro-chan.jp
E-mail:masahiroatajiri@tkz.bbq.jp